# 2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日


上場会社名　　株式会社 倉元製作所　　上場取引所　東
コード番号　　5216　　ＵＲＬ　https://www.kuramoto.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役CEO　　（氏名）星　彰治
　　代表取締役社長兼CFO　　小峰　衛
問合せ先責任者　（役職名）代表取締役社長兼CFO　　（氏名）小峰　衛　　ＴＥＬ　0228-32-5111
配当支払開始予定日　　－

決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

## １．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | EBITDA | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年12月期第３四半期 | 995 | △43.4 | △153 | － | △322 | － | △402 | － | △414 | － |
| 2025年12月期第３四半期 | 1,758 | － | 42 | － | △289 | － | △320 | － | △374 | － |

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　△415百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　△374百万円（－%）
EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年12月期第３四半期 | △8.09 | － |
| 2025年12月期第３四半期 | △7.81 | － |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年12月期第３四半期 | 2,225 | 1,331 | 56.6 |
| 2025年12月期 | 1,820 | 736 | 39.3 |

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,259百万円　2025年12月期　715百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期 | － | 0.00 | － | 0.00 | 0.00 |
| 2026年12月期 | － | 0.00 | － | | |
| 2026年12月期（予想） | | | | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## ３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を算出することが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年12月期３Ｑ | 54,642,075株 | 2025年12月期 | 47,998,575株 |
| ②　期末自己株式数 | 2026年12月期３Ｑ | 32株 | 2025年12月期 | 32株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 2026年12月期３Ｑ | 51,255,271株 | 2025年12月期３Ｑ | 47,973,690株 |

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。